

大野城市暮らしのもやい帳 第5版発行のお知らせ

シニア世代の生活向上・生きがいづくり・介護予防に役立つ「社会資源」を集めた小冊子です。市ホームページから閲覧できます。

●問い合わせ先

すこやか長寿課地域包括支援センター担当
☎(501)2306



アンケート



ホームページ

スタードームまどかに行こう

市民星空観望会
ふたご座の三角形



2つの明るい星が並んでいる「ふたご座」に今年は火星がやってきます。3つの明るい星で作られる小さな三角形を見つけましょう。

- 日時 3月8日(土) 午後7時～8時50分
- 会場 北コミュニティセンター スタードームまどか
- 内容 ◇冬の星の観測◇月・惑星の観測
※中学生以下は、保護者が同伴してください。
※雨天曇天時は、室内おはなし会となります。

●問い合わせ先

北パートナーシップ活動支援センター（北コミュニティセンター内）☎(513)0099

「貨布」との出会い
昭和56（1981）年5月、本市の北部にある仲島遺跡の調査の時です。幅が60cmほどで細長く土の色が違う部分が見つかったため、水路の跡と判断して、深さを調べるために作業員に少し掘ってもらいました。すると、掘り上げた土の中に小さく薄い板切れのようなものが見えました。洗ってみると、青銅製品のように、表面には漢字か模様か分からぬ線が見えました。一つは中国古代貨幣の「貨泉」の「貨」の字のように見えたが、その他は分かりません。何であるかを調べるため、都府楼跡にあった福岡県の大宰府調査事務所に行きました。技師が中国の考古学の概説書の頁をめくり、これじゃないかと言います。私を含めて、その場にいた人たちがそれだと言いつつような気がします。農具の鍬のような形をした貨幣で、右に「貨」の字、左に「布」の字のある、中国新代（西暦8～23年）に作られた青銅製貨幣「貨布」でした。日本での初出土です。この時教えてくれた技師が後に西南学院大学

教授になる高倉洋彰先生です。それからが大変でした。新聞では一面トップ記事として、あるいは社会面で大きく扱われ、テレビやラジオでも放送されました。当時の中央公民館での展示に、一日で400人以上の見学者がありました。

「貨布」は長崎県と大阪府でたまにたま地上で見つかっていますが、今もって、発掘調査で見つかったのはこの仲島遺跡出土例だけです。

中国新代は日本の弥生時代後期の始めごろに当るので、そのころ掘られた溝から発見されれば問題はないのですが、古墳時代後期の6世紀後半の溝から見つかりました。それも謎の一つです。

●問い合わせ先

心のふるさと館ミュージアム
担当 ☎(558)5000



発掘調査よもやま話

あけてみよう!

歴史のとびら

185

